



八和田小だより

【学校教育目標】 『**◎**さしい子・**◎**かるまで学ぶ子・**◎**くましい子』

《新しい年を迎えました 今年もどうぞよろしくお祈いします》

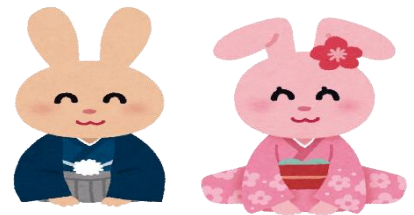
令和5年を迎え、保護者・地域の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も保護者・地域の皆様のお力添えをいただき、円滑に教育活動を進めることができました。厚く感謝申し上げます。

2学期の終業式では「新しい年を迎えます。一年間の目標を決めましょう。」と話しました。ご家庭でのお子様の様子はいかがだったでしょうか。子供たちから冬休みの話を聞けるのを楽しみにしています。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。意味としては、「物事の最初に計画を立てておく」というものです。多くの方が年越しの瞬間には「今年はこんな年にしたい！」と思うことがあります。ただほとんどの場合、「その決意は元旦だけ」になってしまいがちです。やはり長期的な目標を目指す中で、短期的な目標やそれを達成するための方法を具体的に計画する必要があります。

一方、計画も大事ですが、「まずは動き出してみる」ということも同じくらい重要です。人は何かを実行する時に、0から1にするのが一番大変です。逆に少し始めてしまえば、頑張れるということも多いです。きっかけがないと「いつかやろう」で終わってしまいがちです。新しい年を迎えるということは、その思いを実際に行動に移すよいチャンスです。

子供たちには、学校において目標を立てる際は、目標に向けて今日からでもまず動き出すことのできる目標を設定させていきたいと思えます。充実した年になるように、これから子供たちの継続的な努力を応援していきます。そして、本校の教育活動の着実な発展のため、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



【ここからは、1月10日(火)始業式での話です】

おはようございます。新しい年になって初めての挨拶です。今年もどうぞよろしくお祈いします。冬休みは楽しく過ごせましたか。冬休み中に大きな事故やけがをしたというようなことがなく、新しい年、そして3学期を迎えることができ校長先生はとても嬉しいです。

さて、2学期の終業式にお話したように、「新年の目標を立てよう」です。新しい年を迎えて、新しい気持ちで1年の目標を立てたと思えます。皆さん、一人一人が今よりも成長するように、目標を立てたと思えます。今週、各クラスを見に行く時、どんな目標を立てたかを楽しみにしています。

さて、校長先生からは「3学期はまとめと準備の期間です」というお話をします。

3学期は1学期や2学期と比べてとても短い学期です。2学期は76日間ありましたが、3学期は51日間しかありません。しかし、3学期はこの一年間のまとめをすると同時に来年度の準備をするとても大事な学期です。

- ・1年生は、4月に入学する新しい1年生のお兄さんやお姉さんになって、お手本を見せなければなりません。良いお手本となれるように、3学期頑張ってください。
- ・2年生は、4月から3年生です。1、2年生をまとめるリーグ-になります。
- ・3年生は、4年生となり、高学年の仲間入りです。(中学年ですが、低学年・高学年と分けると高学年に入るという考えです。)
- ・4年生は、5年生になり、学校のために働くことが多くなります。委員会活動が始まります。
- ・5年生は、4月からいよいよ、最上級生、6年生になり、八和田小学校のリーグ-となります。
- ・そして、6年生は、小学校を卒業して、中学校という新しい学びの場に進みます。

それぞれ、進級や卒業に向けて、一日一日を大切に、しっかりと1・2・3学期の学習や生活のまとめをしましょう。そして、新しい学年になる準備を少しずつしておきましょう。

校長先生の「3学期はまとめと準備」の話は以上です。

《代表児童が2学期をふり返りました》

2学期終業式で代表児童が発表してくれた内容です。

二学期にがんばったこと

二年 〇〇〇〇

私が二学期にがんばったことは、勉強と運動と学きゅうかつどうです。

勉強では、国語のお話の作者になろうをがんばりました。なぜかという、楽しくておもしろいお話を作りたかったからです。そして、みんなに楽しんでもらいたかったからです。十一人も読んでくれました。うれしかったです。

運動の面では、じぎゅう走大会をがんばりました。毎日、ぎょう間休みに十じゅう走るようにしました。なぜかという、六分いないにゴールして二年生の女子の三位に入りたいからです。おしくも女子三位に入れないけれど、六分は切ることができました。三学期にある長なわ大会もがんばりたいです。

学きゅうかつどうの面では、ぎょうじのじっこういんをがんばりました。大きいもせうしにプログラムを書いたり、絵をかいたりしました。そして、しかいもしたりしてたいへんでしたが、当日みんなのえがおが見られてやりがいがありました。

三学期もいろいろなもくひょうを立ててがんばりたいと思います。

二学期にがんばったこと

四年 〇〇〇〇

私が二学期にがんばったことは、三つあります。

一つ目は、運動会でおどったソーラン節です。三年生のときもソーラン節をおどったので、今回は去年よりかっこよくおどろうと決めて練習しました。どんなふうにおどったらかっこよく見えるのか家で動画を見たり、弟とおどり方をかくにんしたりしながら、たくさん練習をしました。先生に「かっこいいね」

と言われ二回目の移動の後は、センターでおどりました。本番では、私も三・四年生のみんなも声を大きく出せて、心を一つにやりきったと思います。練習よりも上手におどることができて、家族や先生にほめられたので、うれしかったです。

二つ目は、四十七都道府県テストです。最初は日本のどこに何県があるのかわからなくて、覚えるのが大変でした。日本地図の書いてある下じきを使って場所を覚えたり、友達に教えてもらった歌を歌って覚えたりしました。また、家族でクイズみたいに問題を出し合ってがんばりました。一回目の都道府県名を書くテストでは、漢字を一つまちがえてしまい、悔しい思いをしました。二回目のテストでは、満点をとることができてうれしかったです。がんばって努力しつつつけてよかったです。

三つ目は、持久走大会です。去年より順位を上げて、体育の授業や業間マラソンの時間以外も友達と校庭を走って練習しました。学校から帰った後も、家の周りを走ったり、夜はお父さんや弟と一緒に少し遠くの場所まで走りに行ったりして、練習しました。本番は、きんちようしてスタートが少しおくれたんですけど、最後は順位を上げて目標を達成することができました。苦しい時もあつたけど、毎日練習をしてよかったです。

二学期もあきらめずにいろいろなことに挑戦していきたいです。

二学期をふり返って

六年 〇〇〇〇

ほくの座右の銘は「ちりも積もれば山となる」です。小さなちりでもたくさん積もったら山のようになるように、わずかなことでも続けていたら大きな結果につながるということです。なぜ、この言葉を座右の銘にしたのかというと、理由は二つあります。

一つ目は持久走大会です。持久走大会までの一か月間、ほくは「ちりも積もれば山となる」この言葉を肝にめいじて練習をしました。六年生は去年よりも二〇メートル長い、一八〇メートルを走ることになりました。八和田小学校で一番長い距離なので、体を壊さないように気をつけながら「ソツソツ練習をがんばりました。試走の日、結果は七位でした。それから毎日練習を続けました。本番は緊張したけれど、自分の小さな目標であった「歩かずに完走する」を達成できました。順位は試走と同じ七位でしたが、タイムは九分台から八分台に上がりました。練習を続けたから大きな成果につながったのだと思います。

二つ目は西部北地区音楽会です。初めは全然リコーダーが吹けなくて困りました。家で一生けん命練習し、上手になってきたけど、まだみんなよりできていないと感じました。もつともっと練習しないといけないと思いました。家で指使いやリズムの確認をたくさんしました。本番はドキドキして、とても緊張しました。ステージが上がって演奏し始めたら、すらすら吹くことができました。ほとんど間違えずに終わることができ、大きな成果でした。きちんと練習をしてきたおかげだと思いました。

「ちりも積もれば山となる」を座右の銘として、三学期もその先の中学校も小さな努力を続けていきたいです。